飛島村立小中一貫校ワークショップ

キラリ 飛島キラリ通信

第9回

配置・平面の考え方を１案に絞り込む

前回E・F・G案についてグループワークを行い、その話し合いを基に、石本建築事務所より１つに絞ったK案を提案いただき、それについてみんなで話し合いました。Gの次がH・I・Jが飛んでKということはかなり紆余曲折があったことが想像できます。

真ん中のテーブルにみんなが集まり、模型を見ながら色々と意見を言い合いましたが、配置とゾーンの考え方についておおむねよいという意見でまとまり、ようやく配置・平面がほぼ確定しました。今日出てきた意見を踏まえ、さらに細部にわたって検討を続け、まもなく基本設計がまとまります！

１２月にはこのワークショップメンバー以外の村の人々に広く内容を伝えるための「公開ワークショップ」を予定しています。
皆さんからも周りの方に伝えていただき、多くの人に参加していただきたいと思います。宣伝よろしくお願いします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

第9回ワークショップ内容
2007年10月31日　19：00～21：30
参加人数：24人　場所：中央公民館２階学習室

■19：00 教育委員長挨拶

■19：02 前回のおさらい
キラリ通信の内容確認

■19：05 ～E・F・G案のおさらいとK案の説明
E・F・G案のよいところを取り入れたK案について石本建築事務所より模型を使いながらの説明、昇降口の位置の考え方についても比較表により説明。昇降口は先生との打合せも行い決める予定

意見・児童支援施設の位置が体育館下になった経緯
質問　→前回は児童支援施設の増築の問題もあり、体育館下にしばられない最適な位置を検討していた。K案であれば体育館下が最適

・中庭の上下の関係は？
→つなげられるよう検討する

・多目的ホールの規模は？
→４００人が食事できる大きさを想定

・中庭の仕上について、木デッキは耐久性、降雨時の防滑性に欠ける。上足で外に出ると学校の中汚れないか。

・北側低学年ユニットの教室は北側向きか？
→最近よくある事例で、天井高くし自然光により照度が確保できれば問題ない。

・給食の上に教室があって問題ないか（火事、音、におい、高さ）
→給食の床を１階より少し下げ、天井高確保。オール電化を検討中、火は使わない。空調により窓を閉めるため音は気にならない。臭いは排気の向きを

・低学年は通り抜けがあるがデメリットないか。
→デメリットでなく学校としてそうしてほしい。

・昇降口の位置は他の部屋との兼ね合いで決めるべき。

・低学年から体育館への動線が長いのが問題。
→低学年広場の考え方にもよるが、体育館への通路を設ける予定。

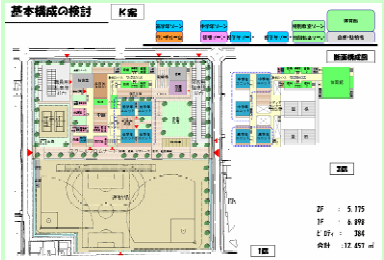
・テニスコートの風除を考えてほしい

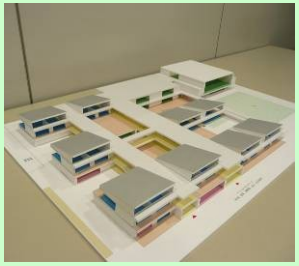
・テニスコートを東側に配置し、建物を西側に移動してはどうか。
→建物がこの敷地のどこに建つのがよいか総合的に判断し検討する。

・児童支援施設の管理区画と来客の問題がある。（駐車場を共有するため）

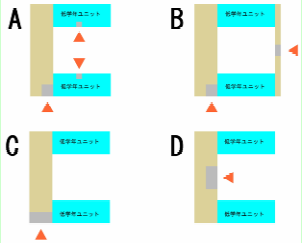
・路上駐車しないよう十分な来客駐車場を確保したほうがよいのでは。
→一時的に必要なものを確保するか判断すべき。臨時駐車場に使える部分を設けるなど。

K案





昇降口比較表



	A	B	C	D
高学年昇降口	東側	南側	南側	東側
低学年昇降口	各学年スペース	東側	南側	東側
体育館広場	下足	上足	上足	下足
低学年広場の日常利用	○	◎	◎	○
低学年広場の緊急性	◎	◎	◎	△
校庭の日常利用	△	◎	◎	△
異学年交流	△	△	◎	◎
土のある低学年広場	◎	△*	△*	◎
一斉登下校	△	△	◎	◎
フレキシブルな低学年ユニット	△	◎	◎	◎

*土の必要な部分は他に作ることで解決可能です。
2つの広場を上下層により性格付けするという考え方もありますが、
両方上足でも、まったく異なる性格付けは可能ですので、比較対象にはなりません。

■次回ワークショップ：11月14日19：00～
「飛島らしさを考えよう！」